



(写真) @ConVzlaComando “1月9日の抗議行動、MCM氏 約4カ月半ぶりに大衆の前に姿を現す”

2025年1月8日（水曜）

政治

「[マドゥロ大統領 就任宣誓後に憲法改定に着手](#)
～国民の関心を逸らすことが目的か～」

「[逮捕した外国人作業員はFBIの重要関係者?](#)」

「[エンリケ・マルケス元大統領選候補 逮捕](#)
～野党 外国大使館で大統領就任宣誓を計画～」

経済

「[CITGO 競売プロセス 7月下旬に完了予定](#)」

「[中国企業 ラグアイラ州の経済特区に進出](#)」

社会

「[スペイン 約40万人のベネズエラ人が居住](#)」

2025年1月9日（木曜）

政治

「[MCM氏 1月9日の抗議行動に参加](#)
～マドゥロ政権に拘束されるも解放～」

「[欧米主要国 マドゥロ政権を相次いで非難](#)」

「[与党 MCM氏の拘束報道を否定](#)
～抗議行動の失敗を隠すため偽情報流した～」

「[ペトロ大統領 フェイクニュースの世界](#)」

「[ゴンサレス候補 パナマ・ドミ共を訪問](#)
～現時点でベネズエラ到着の報道なし～」

「[与党 マドゥロ大統領支持の政治集会を実施](#)」

「[大統領就任宣誓式 参列するVIPは?](#)」

2025年1月8日（水曜）

政治

「マドゥロ大統領 就任宣誓後に憲法改定に着手
～国民の関心を逸らすことが目的か～」

1月8日 マドゥロ大統領は、1月10日の大統領宣誓式を終えた後に最初に着手することは「憲法改定」と発言した。

「1月10日、国会で大統領就任を宣誓した後に、最初に私が署名する政令は、国内外の様々な分野の専門家による偉大な憲法改定を検討する委員会を組織することだ」

「憲法改定の目的は、今後30年にわたるベネズエラの開発モデルを明確に定義することである」「同時にベネズエラの政治・社会を永遠に民主的なものにするためである」とコメントした。

基本的に憲法改定は簡単ではない。

正式な手続きとしては、大統領が憲法改定を発議し、憲法改定のための制憲議会を発足する。なお、制憲議会のメンバーは投票で選出される。

そして、制憲議会は憲法草案を作成。憲法草案を正式な憲法にすることを承認するかどうか国民投票を通じて有権者に問う。

国民投票で賛成が過半数を超えるようであれば、新憲法が正式に制定される。

このプロセスは、かなりの時間がかかる。

また、現在の社会情勢を鑑みると、憲法改定が成功する可能性は低いと想像している。

ただし、「憲法条文の部分改定」であれば、前述のようなプロセスを経る必要はない。

実際に故チャベス政権時代に「大統領の再選回数の制限（2009年まで大統領の再選は1回までだったが、現在は無制限に再選可能になっている）」に関する憲法規定が改定されている。

「憲法条文の部分改定」も国民投票で賛成が過半数を超える必要があるが、前述のような制憲議会の発足は必要ない。

以下は筆者の個人的な見解だが、マドゥロ大統領の憲法改定の提案の真の目的は、「憲法改定」ではなく、「国民の関心を逸らすこと」と想像している。

現在のベネズエラ国民の関心は、「1月10日以降の大統領認識を巡る与野党対立」である。

新たに大きなニュースを作り出すことで、国民の関心およびメディアの報道内容を別のテーマに移すことが真の目的だと考えている。

「逮捕した外国人工作員は FBI の重要関係者？」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1162](#)」で紹介した通り、マドゥロ政権は、ベネズエラの治安を混乱させようとしていたとされる外国人工作員（？）らを拘束した。

1月8日 ディオスダード・カベジョ内務司法相は、「逮捕した外国人工作員の携帯からベネズエラでの犯罪計画に関する複数の情報が出てきた」と言及。

また、逮捕した工作員のうちの1人について「米国の「連邦捜査局 (FBI)」で重要なポジションを担う人物」とコメントした。

カベジヨ内務司法相によると、その工作員は、約20年にわたり FBI と協力し、ベネズエラへの工作員派遣に関与していたという。

カベジヨ内務司法相の発言を受けて、同日に米国国務省は、「マドゥロ政権を倒壊させるための共謀に米国政府が関与しているとの全ての指摘は虚偽である」

「米国政府は民主的な手段でのベネズエラ政治危機の解決を支持している」

と、この訴えを否定。

自国民のベネズエラ国内での拘束について懸念を表明し、拘束者の安否と所在を確認するために善処するとの見解を示した。

「エンリケ・マルケス元大統領選候補 逮捕 ～野党 外国大使館で大統領就任宣誓を計画～」

前述の「逮捕した外国人工作員は FBI の重要関係者？」に関連する話として、カベジヨ内務司法相は、「エンリケ・マルケス氏を拘束した」と発表した。

エンリケ・マルケス氏は、2024年7月28日の大統領選において「Centrados」から出馬した候補。

マルケス氏は、元々「新時代党 (UNT)」の幹事長を務めたことがあるが、現在の主要野党と方針が合わず、UNT から離れた。

しかし、主要野党との関係は強く、敵対的な関係にはない。

昨年7月の大統領選においても、「万が一、ゴンサレス候補が大統領選に出馬できなくなった場合の保険」的な位置付けで出馬していた。

カベジヨ内務司法相によると、「マルケス氏と FBI およびゴンサレス氏の娘婿との関係が確認された」

「マルケス氏のパソコンから、彼が Juan Barreto 氏と María Alejandra Díaz 氏と親しい仲であることが判明した」と言及。

Juan Barreto 氏と María Alejandra Díaz 氏は、元々チャベス支持者だったが、マドゥロ政権下で反政府派に鞍替えした人物。

これら2名と懇意にしていることが問題になる理由は不明だが、Barreto 氏のソーシャルメディアを見る限り、今後 Barreto 氏もマドゥロ政権に拘束される可能性は高そうだ。

他、カベジヨ内務司法相は

「マルケスは、ゴンサレスが大統領就任宣誓を行う計画に関する書類を保有していた」

「この書類によれば、彼はペルーか米国などの外国大使館において一般市民の前で大統領就任を宣誓しようとしている」とコメントした。

経 済

「CITGO 競売プロセス 7月下旬に完了予定」

米国デラウェア州裁判所は、CITGO（正確には CITGO の持ち株会社 PDV Holdings）の3度目の応札プロセスを進めている。

米デラウェア州裁判所で同競売を担当している Leonard P. Stark 判事は、3度目の応札プロセスについて7月22～24日に完了するとの見解を示した。

3度目の応札の重要期限は、3月7日。

この日までに応札者は入札を行う必要がある。

また、7月下旬に応札プロセスが完了したとしても、利害関係者が多く、実際に競売が完了するまでには更なる時間がかかると思われる。

「中国企業 ラグアイラ州の経済特区に進出」

ラグアイラ州の José Alejandro Terán 知事は、中国のテクノロジー企業が、同州の経済特区に進出することになったと発表した。

なお、具体的な企業名は公表されていないが、「中国の重要な企業（una importante empresa china）」と説明している。

Terán 知事によると、経済特区に進出する予定の中国企業は、ベネズエラで高周波ドライブ、回転ヘッド、電子モーター、プログレッシブ・キャビティ・ポンプ、フレキシブル配管など石油産業には欠かせない部品を製造するという。



（写真） José Alejandro Terán 知事 Instagram

社 会

「スペイン 約40万人のベネズエラ人が居住」

スペイン「国家統計局（INE）」は、2024年9月末時点のベネズエラ移民数を公表した。

INEによると、2024年9月末時点でスペインに居住するベネズエラ移民の人数は約38.1万人。

2023年12月末時点で32.5万人のベネズエラ移民が居住していたが、24年1～9月の9カ月間で6.2万人増えたという。

ただし、同期間に9,500人のベネズエラ人がスペインから出国したため、差し引きして同期間に約5.6万人が増え、38.1万人になったという。

なお、2024年10月～12月の移民動向は公表されていないが、この傾向（3カ月で約1.9万人増）が続けば2024年12月末時点で約40万人のベネズエラ人がスペインに居住することになるという。

2025年1月9日（木曜）

政 治

「MCM氏 1月9日の抗議行動に参加

～マドゥロ政権に拘束されるも解放～

1月9日 野党リーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）が呼び掛けていた抗議行動が実施された。

集会はカラカスの4カ所「Conferencia Episcopal, La Vega」「Distribuidor de Santa Fe.」「Centro Comercial Líder.」「Calle Élice de Chacao.」で開催された。また、カラカス以外に各州でも集会が呼びかけられた。

ただ、会場について周知するための時間がほとんどなかったこともあってか、率直に言って大動員とは言えない参加状況だった。

当日の様子は次ページの通り。カラカス各地で行われた集会参加者は最終的に Calle Élice de Chacao に集まり、同会場には MCM 氏が登場した。

なお、MCM 氏は、2024年8月28日の抗議行動以来、約4カ月半ぶりに大衆の前に姿を現したことになる。

1月9日 「Centro Comercial Líder」抗議行動の様子。



「Distribuidor de Santa Fe.」



「Calle Élice de Chacao.」



(写真) @MariaCorinaYa、@monitoreamos

抗議行動の動員状況は、写真のアングルで把握できる。

あまり人が集まらなかった場合は、近くのアングルから撮影された写真が投稿され、多くの人が集まった場合は、ドローンや建物最上階など高いところから撮影された写真が投稿される。

今回、MCM 氏が登場した集会は、寄りで撮影された写真が多い。また、一部では動画も投稿されているが、少し離れると人がまばらになることが確認できる。

なお、この参加者の一部は一般市民ではなく、野党関係者であり、純粋な一般市民の参加は写真よりも少ないことになる。

そして、同日の抗議行動は治安維持部隊と衝突することなく全国的に平和裏に終わった。

しかし、抗議行動後に MCM 氏の所属する政党「Vente Venezuela」は、ソーシャルメディア・アカウントにメッセージを投稿。

「MCM 氏がバイクに乗ってチャカオの集会会場から出発する際に、銃器が爆発し、彼女が拉致された」「拉致された彼女は、いくつかのビデオ撮影を強要され、その後解放された」と訴えた。

そして、この投稿の後に MCM 氏が自身の無事を明らかにするビデオメッセージが拡散されている。

ビデオメッセージでは、MCM 氏が人のいない公園でフードを被り、小声で

「私は元気だ」「1月10日は素晴らしい日になると確信している」「(マドゥロ政権は)私を迫害し、私は青色の財布を落とした」「私は無事である」「ベネズエラは自由になるだろう」とコメントしている。

AlbertoRodNews 
@AlbertoRodNews · Seguir

ÚLTIMA HORA | Difunden video de María Corina Machado, tras reportes de detención: "Estoy bien, estoy segura (...) me persiguieron, ya estoy bien a salvo" bit.ly/3E1g6G8



5:48 a. m. · 10 ene. 2025



「欧米主要国 マドゥロ政権を相次いで非難」

MCM 氏の逮捕情報を受けて、欧米・米州の反マドゥロ政権が強烈にマドゥロ政権を非難した。

マドゥロ政権に対して MCM 氏の即時解放を求めた国は非常に多いが、確認できているだけでも、米国、ペルー、チリ、パラグアイ、アルゼンチン、ウルグアイ、エクアドルが挙げられる。

また、米州機構や欧米・米州の右派系政治家、イーロンマスク氏など様々な著名人がマドゥロ政権による MCM 氏の拘束を批判する声明を投稿している。

トランプ次期大統領もベネズエラの抗議行動について投稿。

「ベネズエラの民主主義活動家である MCM 氏と、エドムンド・ゴンサレス当選大統領は、数十万人のベネズエラ国民と共に平和的に政権に反対する意思を表明した」「米国の偉大なベネズエラコミュニティは、自由なベネズエラを強く支持しており、同時に私を支持してくれている」「これらの自由を求める戦士を傷つけることは許容できず、安全な状態でなければならない」との見解を示した。

特筆すべきは、トランプ次期大統領がゴンサレス候補を「ゴンサレス当選大統領」と表現したことだろう。

トランプ氏は自身の当選が確定した後、ベネズエラ問題についてほとんど言及していなかった。しかし、外交分野の閣僚を反マドゥロ政権グループで固めており、マドゥロ政権との対立が予見される。

Donald J. Trump 
@realDonaldTrump

Venezuelan democracy activist Maria Corina Machado and President-elect Gonzalez are peacefully expressing the voices and the WILL of the Venezuelan people with hundreds of thousands of people demonstrating against the regime. The great Venezuelan American community in the United States overwhelmingly support a free Venezuela, and strongly supported me. These freedom fighters should not be harmed, and MUST stay SAFE and ALIVE!



498 Reposts 1,65k Likes

09 ene 2025, 6:14 p. m.

(写真) トランプ大統領 Truth Social

「与党 MCM 氏の拘束報道を否定

～抗議行動の失敗を隠すため偽情報流した～」

一時的であるにしても MCM 氏を拘束したことで、マドゥロ政権は国際的に強い批判を受けている。

ただし、本件について、マドゥロ政権は MCM 氏を拘束したという情報を否定している。

カベジヨ内務司法相は

「彼女は正気ではない」「我々が彼女（MCM 氏）を拘束したという情報は彼らの計画だ」「同日の集会は非常に少数しか集まらなかった」「集会が失敗に終わったので、自身が逮捕されたとの情報を捏造し、失敗を隠した」とコメント。

ロドリゲス副大統領（兼石油相）は

「彼女はマイクを持つ必要がないほど集会の参加率は悪かった」「大失敗を隠すためにショー（拘束されたとの情報を流した）を行ったのは誰か？」とコメント。

また、検察庁は声明を発表。

「マドゥロ大統領の就任宣誓式に暴力を引き起こすためのイメージ戦略が進行している」「MCM 氏は、2024年7月18日にも自身の車が攻撃を受けたように見せかける虚偽の情報を流布した」「2011年にも自身が攻撃されたことを捏造しており、その証拠となる音声も公開されている」と指摘した。

検察庁が指摘する、2011年の件について、この音声は本物であるかは不明だが、確かに事件が起きる前に MCM 氏が自身の母親へ電話し「今から私の身に危険が加わるような情報が報じられるが、心配しないでほしい」「私は事務所にいる」と伝えている音声は公開されている。

しかし、1月9日夜にカベジヨ内務司法相は、自身が司会を務める番組「Con El Mazo Dando」の特別号を放送。

MCM 氏の拘束について部分的に認めた。

カベジヨ内務司法相の説明によると、MCM 氏を乗せたバイクがスピード違反をしており、彼女はアルタミラ通りで国家警察に引き留められた。この情報を受けて、マガリ・メダ（MCM 氏の右腕）が逮捕されたとの誤情報を流したとの顛末を説明。

「警察は彼女の身の安全を確保するために彼女を引き留めたが、彼らはショーを作り出し、間違いを訂正することなくショーを続けた。彼女は完全に無事であり、誘拐されていない、拘束されていないし、発砲も受けていない」とコメントした。

「ペトロ大統領 フェイクニュースの世界」

MCM 氏の拘束について、国際的にマドゥロ政権を批判する意見が殺到する中、コロンビアのペトロ大統領は異なる見解を表明している。

ペトロ大統領は、コロンビアのサントス元大統領、ドゥケ元大統領が MCM 氏の拘束を批判した報道をリツイートする形で「フェイクニュースの世界」と短いコメントを投稿。マドゥロ政権側の主張を支持する姿勢を示した。



El mundo de la fake news.

El Espectador @elespectador

Los expresidentes Santos, Uribe y Duque condenan detención de María Corina Machado en Venezuela. trib.al/DKY8Gm3

(写真) @petrogustavo

なお、ペトロ大統領は「ベネズエラとの外交関係を断つことはない」「他国の内政問題に干渉することもない」とコメントしており、1月10日に行われるマドゥロ大統領の宣誓式に在ベネズエラ・コロンビア代表大使を派遣する予定となっている。

その後、ゴンサレス候補を支持する政治グループの会合に出席。ゴンサレス候補は「本日この広場は幸福で満たされた」「とても近いうちにカラカスの町も幸福で満たされることを望んでいる」とコメントした。

「ゴンサレス候補 パナマ・ドミ共を訪問

～現時点でベネズエラ到着の報道なし～

1月8日 ギンサレス候補は、パナマを訪問し、パナマの José Raúl Mulino 大統領と面談した。

写真の通り、両名は顔を合わせているが、あまり時間が無かったのか、写真以外の情報はほとんど報じられていない。



(写真) @EdmundoGU

なお、大統領就任宣誓日を明日に控えているが、現在のところゴンサレス候補がベネズエラに到着したという情報は入っていない。



(写真) @EdmundoGU

1月9日には、ドミニカ共和国へ移動し、同国の Luis Abinader 大統領と面談。

Abinader 大統領は、「ベネズエラに自由を取り戻すための扉が開かれた」「民意を尊重することに遅すぎることはない」「自由になると決めた国民の意志を留めることが出来る政権は存在しない」とコメントし、ゴンサレス候補への支持を表明した。

「与党 マドゥロ大統領支持の政治集会を実施」

1月10日に向けて野党側が準備を進めているのと同様にマドゥロ政権も大統領就任宣誓式に向けた準備を進めている。

1月9日 野党陣営と同じようにマドゥロ政権側も支持者による政治集会を呼びかけており、全国各地で政治集会が開催された。

動員状況を判断することは困難だが、写真を見る限り、カラカスで行われた政治集会は、野党の動員よりもやや少ない印象。

Petare の政治集会の様子



(写真) 国営報道局 VTV

一方、地方については、マドゥロ政権側の動員の方が多そうだが、野党のイベント同様、参加者の多くは一般市民ではなく、政治関係者だろう。

スクレ州の政治集会の様子



(写真) Ultimas Noticias

少なくとも大統領・首相など国家主席クラスの国賓が参列する国は極めて少ない。

現時点で、政府関係者の参加が確認できる国は、中国、コロンビア、ブラジル、メキシコ、アンティグアバーブーダ、コンゴ共和国、アルジェリア、サハラ・アラブ民主共和国、ロシア。

また、国ではないが OPEC 事務局長を務めている Haitham Al Ghais 氏も宣誓式に参列するためベネズエラに到着している。

他にも到着は確認できていないが、キューバ、ニカラグア、イラン、ホンジュラスからも政府関係者が参列することだろう。

以上

「大統領就任宣誓式 参列する VIP は？」

1月10日のマドゥロ大統領の就任宣誓式に政府関係者を派遣するという事は、当該国政府としてマドゥロ政権の続投を認識することを意味する。

2024年7月の大統領選の正当性に疑問が生じる中、同日の宣誓式に出席する外国政府要人は決して多くない。